

「この世を極限まで愛された創造主」ヨハネの福音書 3 章 16 節

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏

------*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*---*

皆様、こんにちは。約 2 か月ぶりに、生身の人間を見ながらお話し出来ますことを、ほんとに嬉しく思っております。ちょっとハイというか、お祭り気分の感じがしますねえ。

私の自宅から歩いて 5 分ほどの所に長居（ながい）公園があります。そこに陸上競技場があって、ヤンマースタジアム長居と言われているそうですが、今日まで 4 日間、陸上の日本選手権やってます。2 日前の一昨日、100 メートル走男子決勝が行われました。上位 3 人は東京オリンピックの日本代表選手になります。ズラッと並んだ選手の中で、10 秒切って 9 秒台の選手が 4 人もいてる。長居ですからね、すぐ近く。でも、雨というのが分かって、すぐにテレビに切り替えたんですけど。

100 メートル走は陸上の花で、これで世界一になったらどんな称号が付くかという“人類最速”。“世界一速い男”という称号をもらえるのが 100 メートル走ですが、サニブラウン落ちましたね。桐生選手も選ばれなかった。3 位に山縣亮太選手が選ばれたんですが、彼は半月前の鳥取の競技会で日本新記録 9 秒 95 を出してるんです。これはオリンピック決勝に立てる記録です。日本人が、長距離じゃなくて短距離で世界の最終舞台に立てるような選手が揃っているという、しかもワンツースリーの 2 位の人、高校生でしょ。ああ、変わったなあと思うんですけど。

半月前に 9 秒 95 出した、日本で一番すごい記録を持った山縣選手が全日空 ANA で東京の家に帰る時、機長が突然アナウンスしたんですね。「山縣選手、長い間 怪我でご苦労なされたということを報道で知っています。中学時代 陸上部で 100 メートル 12 秒ジャストの記録を持っているこの機長から、山縣選手にぜひ言いたいことがあるんです。おめでとうございます。」全くプライベートな使い方…してええんかと思うんですが、機内はみんなバチバチバチと拍手が沸き起こったそうですね。

飛行機に乗ったら、ある意味で自分の運命を機長に任せているわけです。乱気流に入ろうが、漆黒のところを飛ぼうが、機長に任せておいたら大丈夫だという信頼の中でやるんです。そのパイロットが元々陸上経験者で、日本人が 10 秒の壁を切ることがどんなにスゴイことかをよく理解し、そして、数年間の山縣選手の苦労をよく理解した上で、ねぎらいと祝福の挨拶をしてるんですよ。サプライズのアナウンスだったと思いますが、きっと励まされたと思うんですよ。家に帰る道々、自分を運んでくれている機長が「お疲れ様でした。すごいですね！」と。

その話を聞きながら、私も自分の魂の家である天国に帰る時、神様から「よくやった！良いしもべだ。あなたは忠実だった」と言って欲しいなあと思って生きてます。いっぱい失敗しますし、スカタンかますんですけど、でも神様は恵み深いお方であって、神様の恵みがどんなものかを理解すると、失敗にくよくよすることがちっぽけな問題に見えて来ますよ。

今日 皆様にご紹介したいのは、来てくださったお一人お一人を、本当に揺るがない・変わらない永遠の祝福で祝福したいと願っている神の言葉です。

福音は元々“祝福の音信”という意味があって、神は人間を不幸にするために造ったのではなく、祝福するために造ったんです。「ああ、生まれて来て良かったなあ」と腹の底から言えるような人生を送らせたいと、神は心から願ってらっしゃるんですね。その神様のメッセージの中でも、特に“聖書のエベレスト”とか“聖書の最高峰”と言われている箇所を、今日ご紹介したいと思います。

ヨハネの福音書 3 章 16 節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。

それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

これを今サッと読んで“すげえ！聖書の最高峰だ！”と分かった方は…クリスチャンです。

そうでない方は、“なんか、前振りの割にはよう分からんな”と。

確かに日本語で書いてある聖書の言葉なんですけど、聖書はひと言葉ひと言葉がみな専門用語です。日常使っている言葉に置き換えて翻訳されているけど、単語の一つ一つは聖書ならではの意味があるので、その意味を解き明かさないと何だか響いて来ないんですよね。そこで今日は、いくつかの言葉を解説しながらご紹介したいと思います。

最初に**神**は。ここで言っている**神**は人間が作った神ではなくて、人間をお造りになった方。

あなたの作者のことです。人間が作った神は人間を助けることは出来ません。

先日 あるニュースを読んでいたら、淡路島に平和観音寺（へいわかんのんじ）というお寺があったそうです。そこに非常に有名な物がある。高さ約 100 メートルの平和大観音です。

平和大観音は台座に載っているのですが、台座の 1 階部分が平和観音寺。その上に観音さんが載っていて、首の所に展望台が付いてるんですね。この展望台に上ると大阪の街並みや大阪湾が一望できる。

でも、ある事でもっと有名になりました。ここに上った人たちが皆口々に言うのは、ちょっと風が吹くだけでぐら～ぐら～（*横揺れ）。観音さんがですよ。高さ 100 メートルの観音像が強風に煽られてぐら～ぐら～。そして、いつしか平和大観音と呼ばれなくなり、むち打ち観音と言われるようになったんですね。というのは、むち打ちの時に首に巻くギブスとよく似ているからです。

ところで、これは誰が作ったのかというと僧侶ではなく、淡路島出身のある実業家が大阪に出て来て大成功するんですね。“これもこれも観音さんのおかげや！”ということで、平和観音寺というお寺を建て、高さ 100 メートルの大観音像を作ったのです。

やがてこの方は亡くなって、これ（*お寺と観音像）だけが残った。遺族も親戚も一族も皆、「こんなん、相続したないわ！」で相続放棄になったんです。それで、ある処分会社が引き取って入札に掛けたらゼロでした。それから厄介な事が始まったんです。何かというと経年変化。

経年変化で何が起こったかという、観音像のコンクリが破片となってボロボロと崩れ落ち、麓の民家に転げ落ちるようになったんです。この観音像の周りを歩いていたら、上からコンクリートの塊がガーンと来るかもしれない。いつしか迷惑観音と呼ばれるようになったんですね。

これね、いつ自宅が大きなコンクリートの塊に直撃されるかもしれない。この辺りの人たちは気が気ではない。平和に暮らすことが出来ないということで、遂に国が乗り出して、今月約2年かけて平和観音像を解体することになりました。が、解体費用8億8千万円です。

私 違和感あるのはね、これ税金なんです。皆さんの税金ですよ。ま、大して払ってないと…皆さんの税金でこの平和観音像の解体が進んでいるのですが、これを見て分かることは、人間が作った物は人間を助けることは出来ない。人間に助けてもらわないと、姿を消すことすら出来ない。偶像は人を助けることは出来ない。一旦出来てしまった偶像は、処分する時に人の手を借りなければならぬ。

そして、こういう物を現代人が見た時に思うことは「だから、宗教ってナンセンスなんだよっ！」
「だから、信心とか信仰とか宗教とかいうのは、人間を愚かにするんだよ！」
それで「神を信頼する」とか「聖書の言葉を信じています。」「私はクリスチャンです」と言った時、「えっ、そんなの信じてるの？」みたいなことを言う方がおられますねえ。

しかし何度も言っているように、信じて愚かなのは人が作った神々のことで、聖書が語っている神は人間をお造りになったあなたの作者。自然界にある全てのもの、宇宙もエネルギーも命も、それらを造った第一原因者。それを創造主と言っているんです。

この創造主を信じるということは、私は理知的なことであると考えています。

キリスト教会で、ずっと（*ホワイトボードに描いた）平和観音像を残しておくの鬱陶しいので消しますね。これが平和観音像と言われても困ると思うんですけど。

実は、先週木曜日にコロナウイルスのワクチンを打って来ました。家内と2人でね。モデルナの方でした。会場いっぱいね。大型観光バスに乗せられて会場のインテックスまで行って、帰って来たんですけど。

ワクチンというのは、いわゆる無害化したウイルスや、ウイルスの部品と言うか破片と言うか、その一部を体の中に入れて、それに対して抗体を作らせ、本物のウイルスが来た時に抗体を覆い被せて無力化してしまう。撃退してしまう。人間の免疫力を利用した対策ですよ。

ワクチンについては賛否両論色々ありますから、皆さんのご自由になさったらいいと思いますが、私はですね、賛成論・反対論、約10冊ずつ、買ったんじゃないんです。送って来られるんですよ。何冊か読み残していますが、考えて打ちました。

抗原が入って来た時に抗体を作る。抗体があるから免疫力が出来るのですが、抗体を作る時に、どうしてもなくてはならないものが1つあります。それは酵素です。

体の中では毎秒毎秒おびただしい数の化学反応が起こっています。呼吸できるのも・食べた物を消化するのも・光に対して眩しいなと反応できるのも、酵素が介在しているので瞬時に反応できるんですね。酵素がなかったら生きて行くことが出来ません。

化学反応を一気に短縮してしまう触媒のような役割を果たしているものを酵素と言いますが、現在分かっているだけで6千種類以上あります。すごい化学反応が体の中で今起こっているんですね。酵素のお陰で抗体も作ることが出来るのです。

どうして酵素が出来るのか？ DNAの中に酵素を作る設計図が入っているからです。

しかし、ここに問題があるんですね。DNAは酵素が無いと作られないんです。DNAが無いと酵素は作られません。設計図も命令書もありませんから。最初のDNAは酵素が無いと作り出せない。

酵素とDNAの両方が体の中に揃っているから生きて行けるんですね。

これを進化論で説明すると「DNAが全くの偶然で出来ました。酵素無しで。そして、酵素が全くの偶然で出来ました。DNAの働き無しで。全く別々に存在していたものが、全くの偶然で組み合わせ合った時に生命発展に非常に効果的で、それが生命体を生んで行きました。」

これね、皆さん、どうですか？ どうですかって言われてもね。僕はこれ、信じにくいなあ。

テレビ番組見る時、2つのものがが必要です。番組を作っているテレビ局と、テレビ局が発信する電波を受信する受信機（テレビ）を作る家電メーカー。テレビ局は、番組を受信するテレビがあるという前提で番組を作ってます。受信機を作っている家電メーカーは、番組を作る放送局があるという前提で受信機を作ります。

そんなものが存在することを知らずに、全く別々に受信機だけ作る。番組だけ作る。

ある時バツタリ出会ったので番組出来るよねっ。これはあり得ない。いや あり得るって。あり得る？ ヘブライ語でアリエルはライオンのことなんですけど。全然関係ないんですが。

私はそうではなくて、最初からDNAと酵素を同時に持つものとして、最初の人間をお造りになった第一原因者がいる。これは一番合点がいく説明であるように思うんですね。

すなわち、聖書が語っている神は人が作った神ではなく、あなたの作者である天の父なる神様です。あなたを人間として・男として・女として・この令和の時代に生きる者としてお造りになった方がおられるのだと語るんですね。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。

神は愛した。誰を？ **世**を愛した。この**世**が専門用語の2番目です。コスモスという言葉ですが、神から離れた世界、及びそれを構成している一人ひとりの人間を指している言葉です。

創造主に対して関係を断ち切って生きている世界のシステムや、それを動かしている人間たちを**世**と語っているんですね。

ある生命保険会社が毎年、サラリーマン川柳を募集してるでしょ。今年のお題は、やっぱり思った通り『コロナ』ですよ。

「テレワーク 気付いた会社の イスの良さ」。意味分かりますか？ 自宅待機・テレワークで仕事してくださいと。リビングの椅子でパソコン2-3時間打ってたら、腰ムチャクチャ痛くなります。会社だったら一日中やっても大丈夫なのに。会社の椅子ね、ええ椅子なんですよ。皆さんの（*今座っている）その椅子も悪くはないと思うよ。でも、何時間座っても大丈夫なような高価な。机と椅子、椅子の方が値段高いでしょ。机にもよるけれど。

「ゲータッチ 妻は私に ノータッチ」。これは悲惨なご夫婦ですね。関わりたくないわっ！という日頃が結んだ実だと思えますねえ。

「お父さん マスクも話題も ずれている」。時々、確かにマスク着けてる。顔には付いてる。でも顎に引っ掛けてるだけで、顎マスクと言うそうですが、肝心の口や鼻を覆ってない。顎マスクでペラペラ喋ってるんですが、その内容がまた ずれてる。「お父さんっ！マスクも話題もずれている！」皆さんを見てたらちゃんと着いている。皆さんはズレのない方でいいなあと思ったんですけど。

ずれてる。聖書で罪という言葉は、“的を外れ/ハマルティア”という言葉が一番たくさん使われています。ハマルティアを少しくだけて言うと“ずれてる”という意味です。あるべきところに無い。そこになければならないものが そこに無い。あるべきものが離れて、ずれて、外れていること。これを聖書は“罪/的を外れの罪”と言うんです。

人間のあるべきところはどこか？ 自分を造ってくださった魂の親である神と共に歩むことが、実は人生の目的です。神から離れて、神がいないかのような人生観で生きたり、神様との関係を切ったり、神を面倒くさい存在であるかのように考えて、「俺、関係ないから」と創造主から離れて生きる人のことを、聖書は罪人（つみびと）と言うのです。そして、罪人を別の言葉で世と言うのです。

神は世を愛された。神は罪人を愛した。神のことを面倒くさいと思っている人間を愛した。「神と関係なんか持ちたくないわ」と思っている人間を愛した。

私がこのメッセージを考える時、少し思い出したことがあります。

北野武がまだ“ビートたけし”の時代、ツービートという漫才コンビ、“コマネチ”とか知りませんか？ 顔く方はある一定以上の年齢の方です。“ひょうきん族”とかありまして、一番のっている時。超売れっ子になった彼のところに、頻繁に現れてはお金をむしって行く人が出て来たんです。「また来た。」

誰でしょう？ お母さんです。武さんのお母さんはとにかく「あんた、金持ってんのやろ！」みたいな感じでやって来てはお金をせびる。その額が最低20万。大体20万から30万。「お母さん、何に使うん?!」温泉旅行 行くんだから。マッサージ器 買うんだよ。健康のためになることするんだ。着物新しく作るとか何やら、とにかく理由はいくらでも出て来て。

また来たか。また来たか。それでも、幼い頃から今までずいぶん世話になった。頭上がらない。せめてこれぐらいの親孝行ということで渡してたんですが、あんまり頻繁だとね、実の母親でもね、

“強欲ババア！”みたいな気持ちがつい出て来る。“また、金かよ…” “金遣い 荒い…”
そして、とにかく早く追っ払うために、「はい、ほらよ！」みたいな感じでお金を渡してた。

このビートたけしが47歳の時にバイク事故起こしたんです。頭蓋骨陥没・脳挫傷・右胸骨複雑骨折。
しかも、酒気帯び運転だったので書類送検。
それまでチャホヤしていたマスコミが一斉に叩き始めました。“調子に乗ってたからだよ。” “傲慢になってた。” “いい気になって肩で風切って。だからこんな目に遭うんだ。”
そして、新聞にいくつも「再起不能」の文字が躍ったんです。急に誰も寄り付かなくなりました。

そんな中、長期入院中の彼のところにお母さんがやって来て「こんな日が来ると思ってたよ。あんた、金遣い荒いからなあ。」 北野武名義で積み立てた貯金通帳と印鑑を持って来たんです。
中を見たら、お母さんに渡したお金は一銭も使わず、それだけではない、自分の年金加えて約1千万。「芸能人として再起不能になっても、これで何とかやって行きや。」

それから5年後、このお母さんが亡くなりました。葬儀の席で、彼は人目もはばからず号泣しながら「こんなぼんくら息子に、最高のお母さんでした。その最高のお母さんを、自分はずっと迷惑な・面倒くさい・鬱陶しい存在だと思っていた。だけど、鬱陶しいと思っていた行為そのものが、実は来るべき時の自分の救いのために準備してくれていたことだったというのが分かって、ありがとう！という気持ちと同時に、ごめんなさい！という気持ち…」と言っていました。

的を外す・創造主から離れる・創造主を迷惑な存在と考えて 創造主から遠く離れて生きることが、なぜ“罪”というどぎつい言葉で表現されなければならないのか？
それは、命の恩人に対する無礼なことだからです。良くしてくださっている存在に対して悪し様に罵ったり、その世話を一切受けていないように考えるのは大きな勘違いです。

神様は罪人を愛しておられるのです。ちょうどお母さんが、孝行息子ではなくて、危なっかしい生き方をしている子であればあるほど余計心配して気になるように、天の父なる神は、私たちが罪人になり果てた後でも全く影響受けず、あなたへの愛を捨てることが出来ない。あなたを愛さないようにすることが出来ない。人は色んなことをやりますが、あなたがどんなに努力しても、神があなたを愛するのをやめさせることは、あなたには出来ません。これが恵みですね。これが神様の愛です。

神は世を愛された。その愛し方は、**神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。**
神様の愛は、イエス・キリストをこの世にお与えになることの中にはっきりと現れているんだ。

日本語で“お与えになる”は、何かこう 単にプレゼントするという意味。“プレゼントする・あげる”を丁寧な言葉で“お与えになる”。でも、ギリシア語原文の意味を調べると、“お与えになる”と訳してもいいけど、元々の意味は“見捨てる”です。

神はイエス・キリストを見捨てても世を愛した。

神は、罪人の救いのために、イエス・キリストを十字架の上で捨てても、世を救おうとされた。

先日、香港のアップルデイリーという新聞社が廃刊になりましたね。創刊者のジミー・ライは中国から香港に逃げて来た人です。アップルデイリー/リンゴ日報。なぜアップル/リンゴと付けたのか？ 彼によると「人類がこんなに酷いことになったのは、最初の間人間アダムとエバが善悪の知識の実を取って食べたからだ。」善悪の知識の実をリンゴにたとえたんです。「あそこで善悪の知識の実のリンゴをかじったために、人間の中に罪が入った。世の中でニュースになるような悪い事件は全部、元はと言えば原罪が理由です！」それで、アップルデイリーという社名にしたそうです。聖書的ですな。

彼は投獄されています。幹部は逮捕され、アップルデイリーの資産は全部、共産党当局によって凍結されているので、もう事業を発展させることが出来ない。日頃 10 万部、それを 100 万部刷って、無料で配りましたね。香港でとうとう報道の自由がなくなった、ということが徹底的に分かった事件でした。

今から 2 年前に、アンチ香港政府デモ・反中国共産党デモ、特に高校生中心の若者たちが皆 デモしたんです。街に繰り出して行きました。その時、親はそれを止めなかったのか？ 疑問に思いませんか？ もし皆さんの高校生のお子さんが素手で、そして日本の警察ではなく、独裁国家の情け容赦のないものと対峙するデモに今から行くと言ったら、止めるんじゃないでしょうか。止めたんです。止めたけれども、それを振り切って、多くの若者たちがデモに行きました。

その時取材していた記者が、当時高校 2 年生の男子生徒とコンタクト出来るようになったので色々取材したそうです。「デモに行くと言ったら、家族から『警察に捕まったら、あなたの記録が警察に残る。そしたら、香港にいる限り一生を棒に振ることになる。政府に逆らったという事実が警察に残ったら、あなたの将来はダメになる。やめろ！』と猛反対された。」

彼のお母さんは中国大陸出身。なので共産党の恐さをよく分かっているのですが、あるときから、彼が「こんなの、おかしい！」と言ったら「あんた、自分の国のことを悪く言うんかっ！」それで、お母さんとひどい口論になるんですね。彼は「国を愛する気持ちはお母さんも僕も一緒だよ。だけど、愛国と愛党は違う！ 中国の国を愛せても、共産党という党を愛する気にはなれない！ 中国人を愛せても、共産党という独裁体制を愛することは出来ない！」なんぼ話しても、その違いが分からない。通じない。

“お母さんを心配させているなあ”と心痛みながらデモに出てたけど、とうとう仲間と集まっているところを踏み込まれて逮捕され、強制連行されて留置場に放り込まれた。ショックでした。これで自分の記録が残ってしまった…。お母さん、心配するなあ…。

ところが、保釈後分かったことはもっとショックなこと。実はね、お母さんが売ったんです。「政府に反対する息子が自分の家族にいます」と自ら言うことによって、家族全体を守ろうとした。だけど 17 歳の息子はね、「政治の問題でお母さんと意見が違うことがあったとしても、お母さんが僕を止めるのは、僕を心配してのことやと思ってた。僕のことを思って、『行くな』と言ってると思ってたら、実は密告者はお母さんだった。」それで、保釈されてから「もう、死にたい…死にたい…」

死が一番怖いことじゃないのか？ いや、生きて行く意欲を失わせる事を経験してしまった。
つまり、何があっても親だけは自分を守ってくれている。親だけは自分を信用してくれている。
自分も親だけは信じる事が出来ると思っている。信じ切っていた、信頼し切っていた、その当の本人から捨てられた時のそのショックです。“なぜだ～っ?!” という。
これ、その心の傷は一生残るんじゃないですかね。

十字架に掛かったイエス・キリストはこう叫びました。「**わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。**」それを叫んでおられた時、文字通り捨てられたんです。
一度も罪を犯すことがなかった方、いつも神を信頼していた神の御子、いつも神の御心とおりを歩んで来られたイエス・キリスト。そのキリストが、全面的信頼を寄せている神から捨てられた。ゴミのように。「**どうしてお見捨てになったのですか。**信頼しているわたしを、なぜお見捨てになるのですか？ あなたは、あなたを信じる者を捨てるが出来ないはずなのに、なぜわたしに限ってはお見捨てになるのですか？」

世を救うためです。創造主から離れて自己中心となり果てた、この人間の罪の結果は永久の裁きです。この裁きを免れさせるためには、罪の無い方が、身代わりにその裁きを引き受ける以外になかったのです。私のために、私が受けるべき裁きの全てを引き受けてくださったイエス・キリスト。
この方の上に裁きを振り降ろされるほどまでに、神はあなたを愛された。

人間の不幸の根源的な理由は、創造主から離れて自己中心になることです。
神様が愛なら、なぜ世の中はこんなに乱れているんですか？ 人が神から離れているからです。
神がして欲しくないことを選んでいきます。
しかし最大の不幸は、この地上で経験する不幸ではなくて死後に来ます。
罪の問題を解決する。もう一度創造主の祝福の下に返るために罪を永久処分する。そのために、神はイエス・キリストを十字架の上で身代わりに捨ててくださいました。それほどまでに、あなたを愛されたのだと聖書は語っています。

それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。
神が一番人間に求めていることは、滝に打たれることでもなく、断食することでもなく、聖書を寝ずに読むことでもなく…、読んでもいいんですよ。読んでもいいけど、神が求めていることは意外です。信じることです。

自分では到底できないことを、神は私の代わりにイエス・キリストにさせてくださった。
私が自分で到達できないことを神はイエス・キリストにおいて成し遂げてくださったので、私のために十字架に掛かり、墓に葬られ、3 日目によみがえったイエス・キリストを信じる。救い主として信頼する。神様はそれを良しと認めてくださるんですね。

そのように**信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。**
永遠のいのちとは、ただ単に長い命のことではありません。皆さんは長く生きたいですか？

家でよく話します。「何歳まで生きると思う？」って。家内はですね、私が今売ってる本があるんですよ。自分で書いた本。「この本が全部売れた時が私の死ぬときです」って言うんです。

最近 YouTube でそれを宣伝しましたところ一気に売れましたので、「これで 私もうすぐだわ。私はもうすぐ天に帰ります」と言っている。言う人に限って長生きするんですよ。「俺、まだまだ生きるでえ！」と言っている人に限ってね、「えっ?!」というような死に方で亡くなる人が多いような気がします。

この性格のまま・この肉体的な限界のまま・あっちこっち痛いコンディションのまま、或いは、次から次へとおかしな流行り病が発生するようなこの世の中で、いつまでもいつまでも生きるってね、ある種の地獄じゃないですか？

永遠のいのちって何かというと、ヨハネの福音書の17章にこんな言葉があるんです。

17:3 永遠のいのちとは、唯一のまことの神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストを知ることです。

永遠のいのちとは、神を経験し、イエス・キリストを経験する人生の中に入ることです。

イエス・キリストと神ご自身を理解し交わる能力を持ったいのち。神と親し〜い愛の交わりの生活に入るいのち。

実は、神様はあなたのすぐそばにおられるんですが、この永遠のいのちを持っていないと、神が今まで自分にどんなに良くして来てくださったのかが分からない・見えない・反応することも出来ない。永遠のいのちを持っている人だけが、神と神が遣わされたイエス・キリストを、知識で知るだけでなく、人生の経験として知ることが出来るのだと言うんですね。

最後に1つお話をして終わりたいと思います。上智大学の名誉教授でハビエル・ガラルダという方がおられました。もう亡くなられました…と思います。ちょっとチラッとそういう記事見たんですけど、もう1度確認しなければなりませんね。この方は若い時、ハンセン病専門病院に実習生として通ったそうです。カトリックの神父見習いのようなものです。

ハンセン病は昔“らい病”と言われて、らい菌（レプラ）によって、生きながらにして死体のように腐っていくんです。鼻がもげたり・指がなくなったり・味わう感覚がなくなったり・痛みを感じる事が出来なくなったり・失明したり。それで外面的に病状が分かるので、ずいぶん差別されて来た病気です。

彼はハンセン病で悩んでおられた方々を専門に治療する病院で実習してて、2人一部屋の男子病棟にMさんとHさんがいました。Mさんは既に失明して全盲です。全く見えない。だけど、とにかく明るい。身寄りが全然ないので面会・お見舞いに来る人ゼロです。身寄りが全くないということは、仕送りしてくれる人もいないということで、いつも同じ物を着てます。貧しくて、けども少しも暗いところがない。前向きで明るくて、いつもニコニコしている。

Hさんはとにかくテレビ見るのが大好きだけど部屋にない。休憩室に1台だけ置いてあるテレビを見

